

みんなの広場



パパと子どもは楽しい遊びをたくさん教えてもらいました (23日)



パパと子どもが楽しく遊んでいる間に、ママたちはアロマスプレー作り (23日)

育児シェア体験教室

パパも育児に参加します

立花公民館で育児シェア体験教室があり、家族連れなど約100人が参加しました。内容を変えて2回開催されたこの教室は、パパと子どもが楽しく遊んだり、歯みがきの講習を受けたりしている間に、ママはアロマスプレーを作ったり、スキンケアを学んだりできるというもの。参加者にはとても好評で、パパたちの育児への意識も高まったようです。



パパと一緒に正しい歯みがきの仕方を学びました (26日)

大坪町古賀地区の伝統行事『頭わたし』

明治時代から脈々と受け継がれる伝統

大坪町古賀地区で、氏神様『今岳大権現』の分霊の世話役(頭)を翌年の当番に引き継ぐ伝統行事『頭わたし』がありました。これは、今年の豊作に感謝し、長寿や健康を願う祭りです。新しく決まった世話役たちは、大権現や神官、ほら貝吹きなどに扮し、顔にはたつぷりと墨を塗って地区を巡業。各家庭に笑顔と福を届けていました。



↑互いに顔に墨を塗り合うと、自然と笑顔がこぼれます

神原八幡宮『取り追う祭り』

御供さんを食べて無病息災

二里町大里地区に伝わる神事『取り追う祭り』が、神原八幡宮でありました。もち米を握った『御供さん』を奪おうと合戦場で氣勢を上げる攻め手に、竹を束ねた『たいまつ』を打ち付けて火の粉の雨を降らせる守り手。激しい攻防の末に攻め手が奪った御供さんは、食べると無病息災で過ごせるとされており、押し寄せた観客にふるまわれました。



↑奪った御供さんを観客にふるまう攻め手

魅力あふれる夢のまち 伊万里ウオーク 2017

名所を巡って心も体も健康に

市内のさまざまな名所を歩いて巡る『伊万里ウオーク 2017』がありました。伊万里湾岸・大川内山・市街地を通る3つのコースに、市内外から合わせて604人が参加。それぞれのペースで思い思いに伊万里の自然や歴史などを楽しみました。ゴール後には温かいだご汁の振る舞いや、伊万里牛などの特産品が当たる抽選会も行われました。



風情あふれる紅葉の大川内山を歩く参加者



↑伊万里湾大橋の上の横風にも負けず『ピース』

↑東山代町里の里小路の小笹生垣

交通安全ウィンターキャンペーン

1日交通課長が笑顔でアピール

冬の交通安全県民運動の一環として、市交通対策協議会がキャンペーンを行いました。1日交通課長の委嘱を受けた黒川町在住の山口あずささんが、伊万里警察署長や市交通安全指導員など約30人の参加者と一緒に市街地をパレード。通行人に啓発チラシや反射材などを配りながら、交際ルールの遵守や飲酒運転の撲滅などを呼びかけました。



↑「飲酒運転を許さない環境をつくりましょう」と呼びかける1日交通課長の山口さん（前列左）と参加者

ハートフルフォーラム 2017in 伊万里

みんなで思いやりの輪を広げよう

市民会館でハートフルフォーラム 2017in 伊万里がありました。毎年市内の高校の協力を得て開催しており、今年は敬徳高校の生徒会が企画・運営に参加。司会進行や人権に関する意見発表、デートDV紙芝居上演などを担当しました。また、人権講演や人権コンサートも行われ、来場者は身近に存在する人権問題への理解を深めていました。



上演された紙芝居は、市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』と敬徳高校生による共同製作で7年振りにリニューアル



↑シンガーソングライターの野田

↑池田尚さん（諫早市こどもかつひこさんの人権コンサート
の城館長）による人権講演

第26回市民音楽祭～ふるさとを歌おう～

伊万里に音楽の灯をともしよう

市民音楽祭が市民センターで開催され、市内で活動する19団体が、吹奏楽や合唱、フルート、箏、オカリナなどの練習の成果を披露しました。今回は初めての試みとして、各団体からの代表者が合同で『赤鼻のトナカイ』を演奏。多彩な楽器や豊かな歌声で作る少し早めのクリスマスプレゼントに、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。



↑各参加団体から2名ずつの代表者たちが合同発表